

『共立蒲原総合病院組合 ESCO 事業』事業提案審査の講評

共立蒲原総合病院組合 ESCO 事業は、経年劣化した設備機器の更新費や増加傾向にある光熱水費などの維持管理・運営コスト対策並びに省エネルギー化や CO2 削減による環境負荷の低減を目的としたものであります。

先般、当組合において事業提案を広く募集したところ、芙蓉総合リース(株)を代表とするアズビル(株)、住友電設(株)の 3 社で構成されるグループから参加表明及び事業提案書が提出されました。この提案書に基づきプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、芙蓉総合リース(株)グループが最優秀提案者として相応しいと認めました。

この提案では、電気チラーやマイクロコージェネレーションシステムを導入した熱源設備の再構築によるエネルギー削減、CO2 削減の効果が高いことに加え、災害時における電力供給体制や BCP 対応が強化されていること、さらに照明の LED 化や空調運用に関する省エネルギー手法などが数多く提案されており、事業全体でのエネルギー削減率 13.9%、CO2 削減率 14.0%と十分な効果を見込むなど、環境面、技術面において高く評価されました。今回の募集において更新必須とした項目の中には、環境性能の向上や光熱水費削減に貢献し難いインフラ設備の更新も幾つか含まれておりましたが、提案全体としては省エネルギー・地球温暖化などの環境負荷の低減、維持管理費・運営コスト対策に加え、インフラ長寿命化も含めた総合的にバランスの取れた事業提案でありました。

本事業の実施にあたり、高い技術力と豊富な知識、経験に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

令和 5 年 3 月 14 日
共立蒲原総合病院組合 ESCO 事業
審査委員会 委員長 成宮 和具